日弁連 第28回司法シンポジウム

プレシンポジウム

『市民の司法参加と裁判官のあり方
～裁判員制度で刑事司法は変わったか？～』

主催　京都弁護士会　　共催　日本弁護士連合会

第28回司法シンポジウムが２０１８年９月２９日、「司法における国民的基盤の確立をめざして」と題して、日本弁護士連合会によって開催されます。

当会においてはこれに先立ち、ジャーナリストの池添徳明氏及び元裁判官の小林克美氏をお招きして、プレシンポジウムを開催します。

池添氏は長年、多数の裁判を取材され、「裁判官の品格」など裁判官についての書籍を出しておられます。小林氏は１９７３年４月、任官され、今年１月まで、４４年間に亘り、裁判官の職責を担われました。

池添氏及び小林氏に当会の遠山大輔会員を交えて、裁判員制度の導入された刑事裁判を通じ、現在の裁判所･裁判官に対する評価、裁判員制度・弁護士任官などキャリア裁判官以外のものが裁判に関わることで、裁判所･裁判官はどのように変わるのかを検討します。

● **講　演**　「取材から見えてきた日本の司法」　池 添 徳 明 氏

● **報　告**　「裁判員制度で刑事裁判は変わったか？」　遠 山 大 輔 会員

● **パネルディスカッション**

「裁判員制度をヒントに裁判官のキャリアシステムの改革
国民の期待に応える司法の道を探る」

パネリスト　池 添 徳 明 氏　（ジャーナリスト）
小 林 克 美 氏　（元裁判官）
遠 山 大 輔 会員（当会刑事委員会委員長）

参加無料
申込不要

［と　き］２０１８年９月５日（水）午後５時３０分～午後８時

［ところ］京都弁護士会館 地階大ホール（京都市中京区富小路通丸太町下ル）

［お問合］京都弁護士会 KYOTO BAR ASSOCIATION　Tel. ０７５－２３１－２３３７